

自然乾燥材で活発意見

県産材活用懇談会が20日、鹿児島市の県庁で開かれ、県土木住宅課や県林務水産部林業振興課の担当者をはじめ、県建設士会女性部会員約20人が出席して、今後の県産材を使用した家づくり等に



県産材活用について意見を交換した懇談会
＝鹿児島市の県庁で

の担当者をはじめ、県建設士会女性部会員約20人が出席して、今後の県産材を使用した家づくり等に

懇談会の冒頭、県担当者「「地産地消」及び「かしま材」の認証制度についての概要等を説明した後、意見交換に入った。

この中で女性部会員からは、最近の住宅事情や顧客ニーズの多様化等を挙げ、「じっくり時間をかけて家づくりをしたい」という顧客もいるため、機械乾燥材だけでなく、自然乾燥材を供給できる体制があってもよいのでは、「これからは本場に

良いもの（自然乾燥材）が売れる時代になると思う。これを製造できる製材所等がほしい」といった要望があった。

これら意見等を受け、県は、自然乾燥と機械乾燥のメリット、デメリットを挙げ、自然乾燥材の良さは認識しているとしながらも、「品規格改正後、集材の需要が高まってきているため、量的に不足している」という現状を示した。最後に、「本

クリーンエネフェスタ

新エネの良さ体感

九州経済産業局、県、新エネルギー財団は21、22日の両日、鹿児島市の鹿児島アリーナで「新エネ・フロンティア21クリーンエネフェスタ」を開催し、県民が新エネルギーの良さを体感する機会となった。

会場には、新エネルギーのパネル・模型展示や体験コーナー、親子ソーラーカー工作教室、クリーンエネルギー自動車展示・試乗、自治体・大学・企業等の活動紹介コーナーなどに、多くの家族連れが訪れ新エネルギーの良さを体感していた。



各種新エネルギーに見入る子供等
＝鹿児島市の鹿児島アリーナ

VEリーダー試験合格者

建設業が7割占める

日本VE協会、企業生産ラインマン、グループリーダー、第一線監督者、中堅管理者がそれぞれの職場やグループ活動などを通じて、VE活動のリーダーを務めるために必要な基礎知識を持っている人材であることを協会が認定するもの。

なお、合格者名簿は、きょうから協会ホームページ（http://www2.jve.org/site/org/default.htm）に掲載する。

盛大に無事故1000日祝う

未来永劫へ団結誓う

住友林業(株)は20日、鹿児島市の城山観光ホテルで無事故無災害継続1000日達成表彰式及び祝賀会を開いた。同社住宅本部鹿児島支店（畔柳正司支店長）が設立以来無事故を達成していること

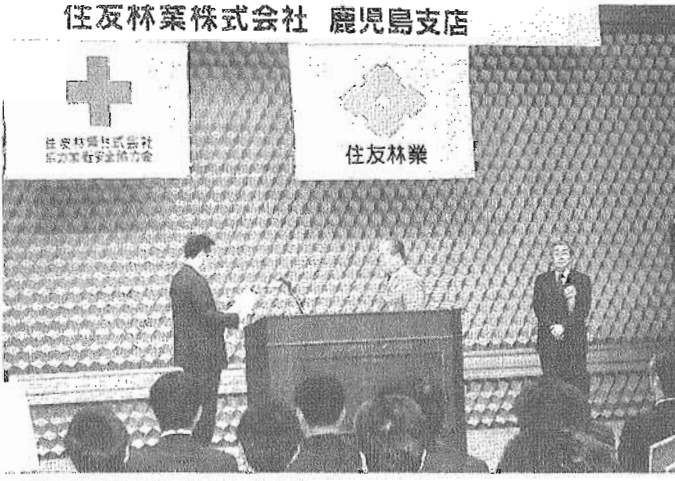
から実施したもので、社員及び協力会員ら約80人が出席、さらなる躍進と無事故無災害の継続を誓った。

冒頭、高塚充実同社住宅本部安全環境部長が「昨年12月26日、無事故1000日を達成し創立記念日の本日、表彰がで

きることは誠に喜ばしい限りです。これも、安全に対する取り組みが達成につながったと思います」と挨拶した後、表彰式に移った。表彰では同社安全協力会の千原弘隆住会長（千原建設(株)社長）、畔柳正司住友林業(株)住宅本部鹿児島支店長に表彰状が手渡された。

これに対し千原社長が「本日は1000日無事故無災害の意義ある賞をいただき喜ばしいことと同時に、身の引き締まる思いがします。一朝一夕の故にあらず」と言う

住友林業(株)は20日、鹿児島市の城山観光ホテルで無事故無災害継続1000日達成表彰式及び祝賀会を開いた。同社住宅本部鹿児島支店（畔柳正司支店長）が設立以来無事故を達成していること



表彰を受ける千原会長
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

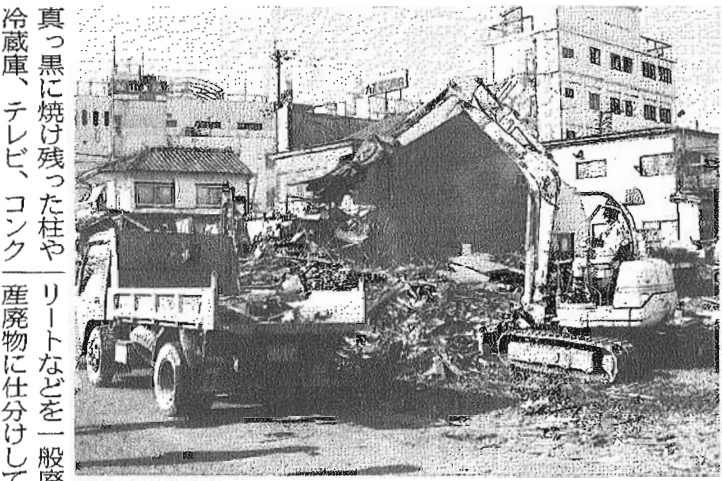
このあと、会場を移し祝賀会が行われ、根井諭根井工務店社長らが挨拶し、脇山章治(株)北洋建設社長の乾杯で祝宴となった。

被災地建物撤去奉仕

重機・ダンプなど25台で

1月27日に鹿児島市街地で火災が発生、3棟6世帯が焼失した大手町の被災地建物撤去作業が20、

21の両日行われ、県建設業協会肝属支部や鹿児島建友会、鹿児島土木業組合の会員が参加し、復旧作業で整地された。



重機も使って行われた作業
＝鹿児島市の被災地で

同作業には同地区の地権関係者、大手・北田両町内会、北田消防団、地域整備公団、市、商工会議所、市商店街連絡協議会、まちづくり鹿児島のほか、県産業廃棄物協会大隅支部、市民ボランティア総勢150人が参加し、建設業団体からは4台ダンプカーなど重機と重機約25台が準備された。作業には、シャベルカーなど重機と多くの市民ボランティアが入り、

真つ黒に焼け残った柱や冷蔵庫、テレビ、コンクリートなどを一般廃材と産業廃棄物に仕分けしてダン